

# 2017年3月期 第1四半期 決算参考データ

2016年8月1日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

# 2017年3月期第1四半期 業績(前年同期比)

(億円)

## 主な増減要因

	2015年度 Q1実績	2016年度 Q1実績	前年同期比	
			増減率	
売上収益	769	823	+54.7	+7.1%
売上総利益	174	180	+6.6	+3.8%
(売上総利益率)	(22.6%)	(21.9%)	(▲0.7p)	-
その他の収益及び 費用	▲157	▲160	▲3.7	+2.4%
営業利益	16	19	+2.8	+17.0%
(営業利益率)	(2.2%)	(2.4%)	(+0.2p)	-
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	11	12	+0.5	+4.5%
受注高	730	786	+56.0	+7.7%
受注残高	1,977	2,045	+68.6	+3.5%

### 【売上収益】

コンビニや商社、金融向けなどで増加。

### 【売上総利益】

売上収益の増加により増益。

### 【その他の収益及び費用】

販売管理費は前年同期並みとなるも、為替評価損の発生により、その他の費用が増加。

### 【営業利益】

売上総利益の増加により増益。

### 【受注高】

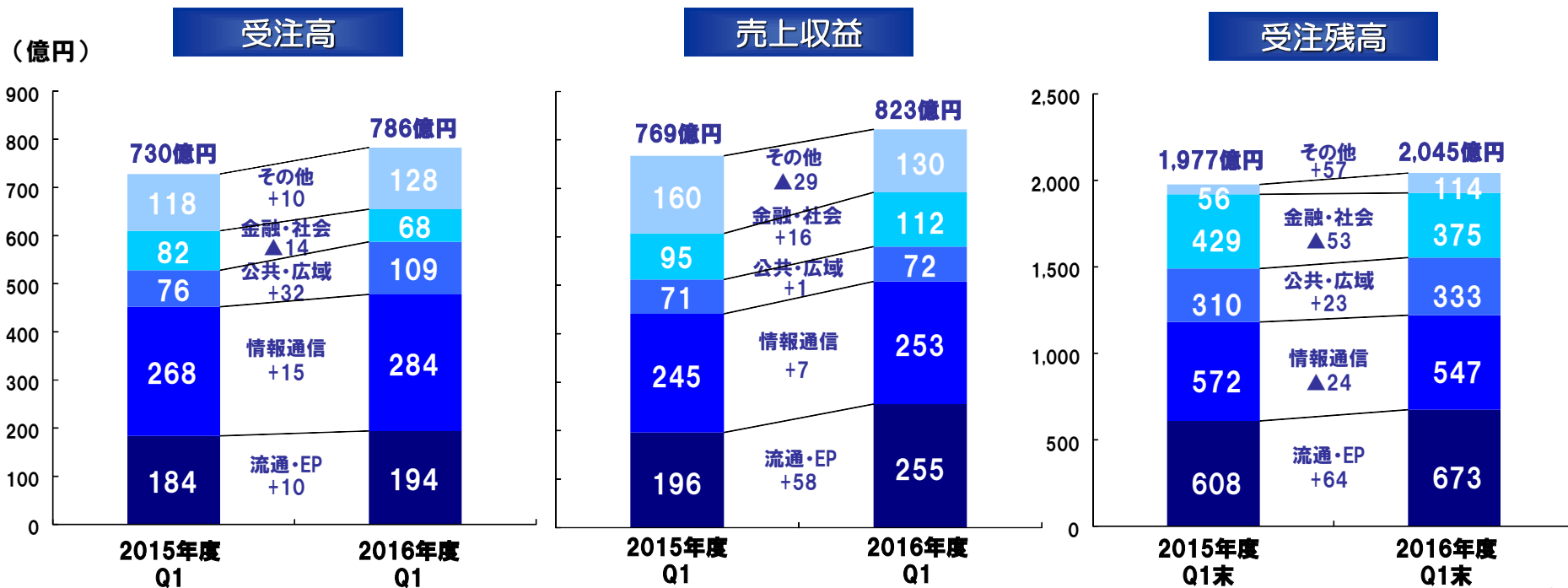
コンビニや携帯キャリア、中央省庁向けなどで増加。

### 【受注残】

同上

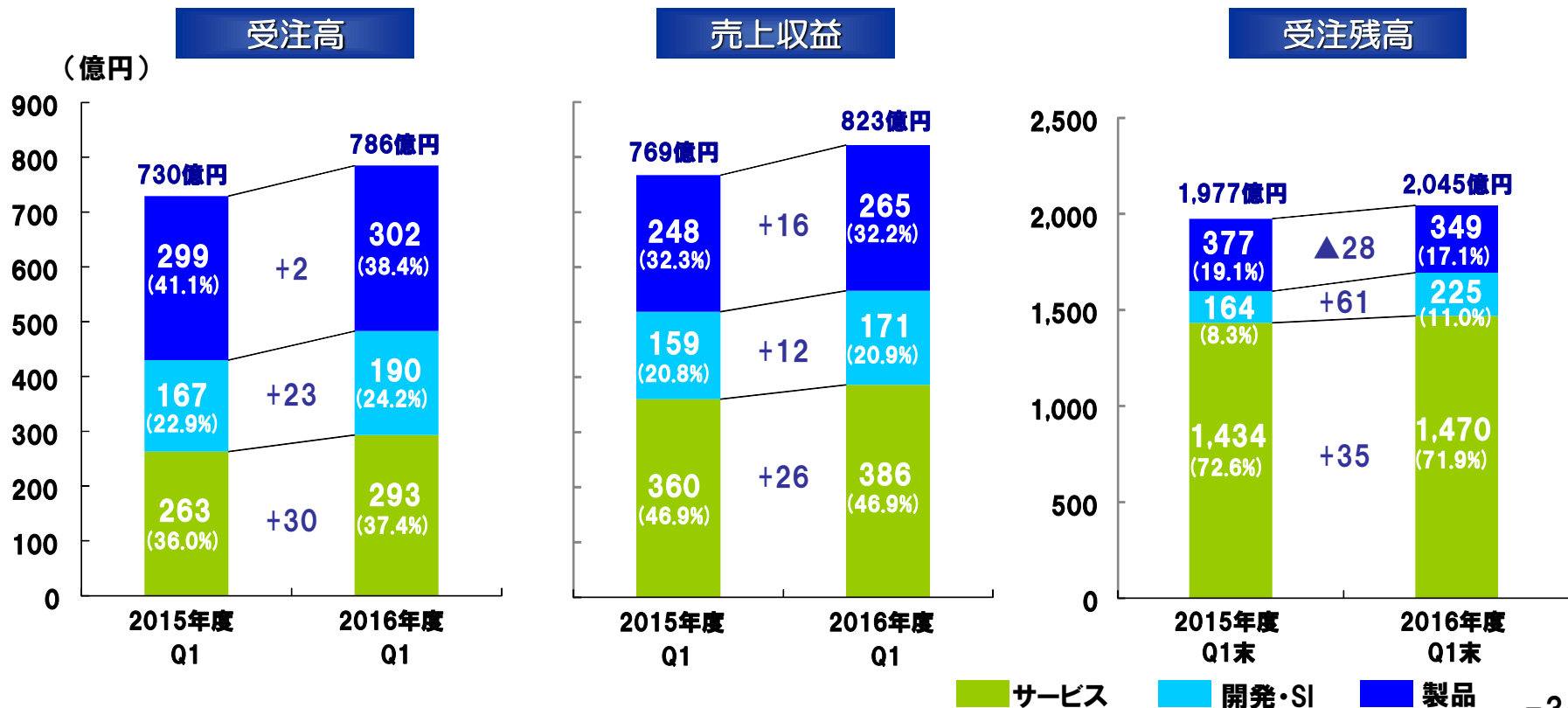
# 事業グループ別実績(前年同期比)

- **流通・エンタープライズ**: 受注は製造向けインフラや、商社向け開発、コンビニ向け店舗システムなどが増加。  
売上は商社向けやコンビニ向けに加え、不動産向けインフラが増加。
- **情報通信** : 受注は携帯キャリア向けネットワークが増加。売上は携帯キャリア向けに加え法人案件が増加。
- **公共・広域** : 受注は中央省庁向けネットワークが増加。売上は概ね前年同期並み。
- **金融・社会インフラ** : 受注はメガバンク向け開発が減少。  
売上はメガバンク向けインフラや、カード向けサービスが増加。
- **その他** : 受注は国内事業会社にてコンビニや製薬向けサービスビジネスなどが増加。  
売上は海外事業会社の金融向け製品ビジネスの減少に加え、IFRS調整が減少。

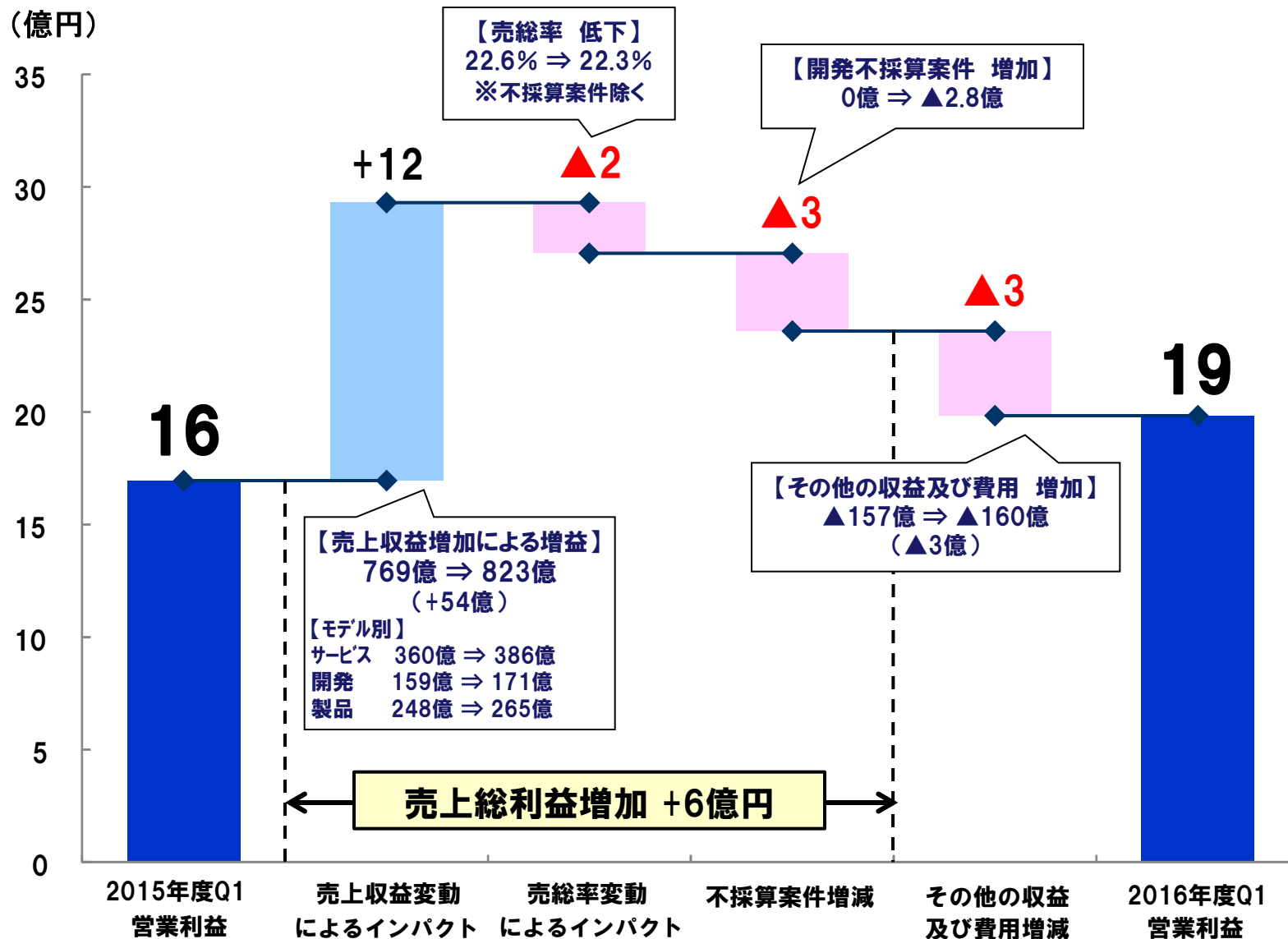


# ビジネスモデル別実績(前年同期比)

- サービス：受注は携帯キャリア向け製品保守や、中央省庁向けネットワーク構築などが増加。  
売上はコンビニ向け店舗関連機器設置・構築や、自動車向け運用などが増加。
- 開発・SI：受注は商社やカード向け開発などが増加。  
売上は商社や運輸向け開発や、自動車向けインフラ構築などが増加。
- 製品：受注は概ね前年同期並み。売上はコンビニ向け店舗関連機器や不動産向けインフラ、携帯キャリア向けネットワークなどが増加。



# 営業利益増減要因(前年同期比)



# (参考) その他の収益及び費用 内訳

(億円)

	2015年度Q1 実績	2016年度Q1 実績	前年同期比	主な増減要因
人件費	▲90	▲91	▲0	
委託社員受入費	▲14	▲14	+0	
減価償却費	▲7	▲6	+1	
その他	▲44	▲45	▲1	租税公課▲1.3億
<b>販売費及び一般管理費計</b>	<b>▲158</b>	<b>▲157</b>	<b>+0</b>	
<b>その他の収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>▲0</b>	
<b>その他の費用計</b>	<b>▲0</b>	<b>▲3</b>	<b>▲3</b>	為替評価損▲2.9億
<b>その他の収益及び費用計</b>	<b>▲157</b>	<b>▲160</b>	<b>▲3</b>	

**CTC**

Challenging Tomorrow's Changes